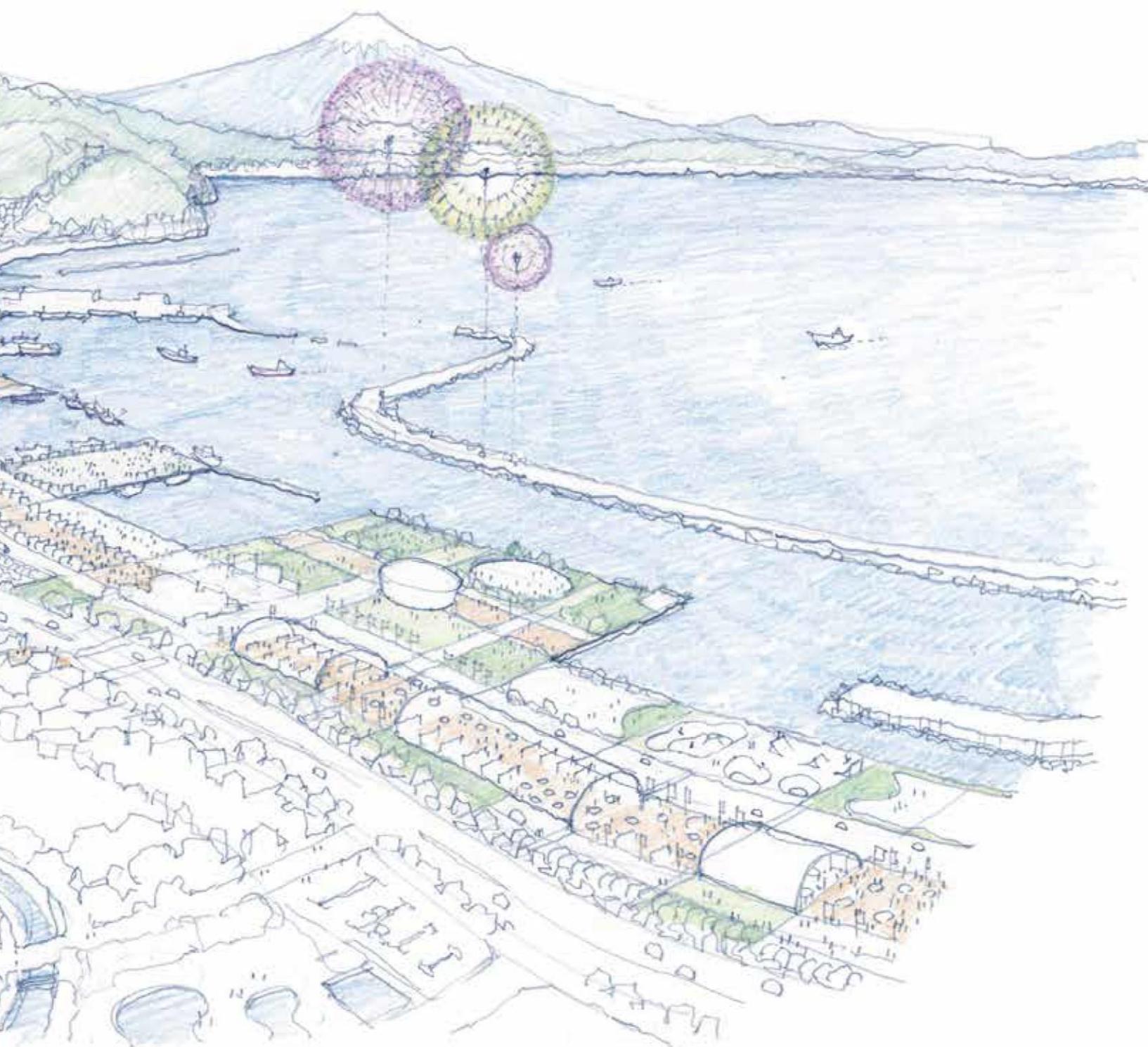


焼津未来デザイン



令和7年3月 焼津市

目次

I はじめに	1
1 策定趣旨や位置づけなど	2
2 焼津未来デザインの概要	3
3 焼津未来デザインの構成	4
II グランドデザイン	5
1 グランドデザインについて	6
2 焼津市の理想像	7
3 まちづくりの方向性	10
4 4つの未来デザイン	23
III 地域未来デザイン	28
1 地域未来デザインについて	29
2 地域未来デザインの内容	30
IV 焼津未来デザインの実現に向けて	70
1 焼津未来デザインの実現に向けて	71

| はじめに



1 策定趣旨や位置づけなど

1) 策定の背景と目的

本市では、2017年（平成29年）に、焼津市の将来ビジョンを示した焼津ダイヤモンド構想を策定するとともに、2018年（平成30年）に、将来都市像を「やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい 世界へ拡げる水産文化都市 Y A I Z U」として掲げた第6次焼津市総合計画及びその実現に向けた第1期基本計画（焼津未来共創プラン2018）を策定し、市民と共に様々な施策を総合的に推進してきました。

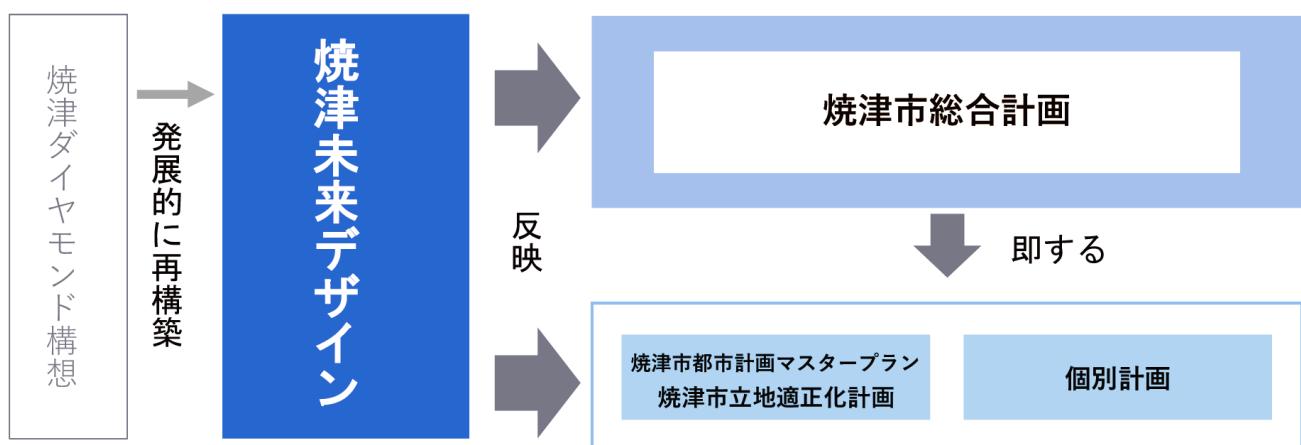
2022年（令和4年）には、将来都市像の実現に向け、第2期基本計画（焼津未来共創プラン2022）を策定し、急速な社会経済情勢の変化に対応した今後のまちづくりにおける基本的な指針とすることとしました。

人口減少・少子高齢化の進行や Society5.0 を見据えたデジタル化の急速な進展等により社会が大きく変化していることに加え、新たな働き方の浸透やビジネスモデルの変容等、今後も社会経済構造や人々の行動、意識・価値観は大きく変化していくことが予測されます。

このような状況を踏まえ、これまでと同様に、市民が住み慣れた地域で生きがいをもち、安心して生活できるよう、全市的視点から変化に対応した新たな都市づくりが求められており、そのための都市構造やまちづくりのあり方等、未来の焼津市の姿を描くことが必要です。

未来を見据えて、時代の変化に対応した持続可能な都市経営の実現により、まちの活力の維持・向上を図りつつ、市民の暮らしを守り、市民が将来にわたって夢と希望をもって本市で暮らし続けていくために、焼津ダイヤモンド構想を発展的に再構築した「焼津未来デザイン」を策定します。

2) 計画の位置づけ



3) 目標年次

焼津未来デザインの目標年次は、2044年（令和26年）として設定します。

また、焼津未来デザインの内容については、社会情勢の変化や施策の実施状況に適切に対応するため、総合計画の策定・見直しに際して、各事業の進捗状況等を勘案しながら必要に応じて見直すこととします。

2 焼津未来デザインの概要

1) 焼津未来デザインとは

焼津未来デザインとは、未来の本市をとりまく社会状況等を予測し、本市が目指すべき「まちの姿や状態」、「人の生活の様子」等を未来像として示し、市民・事業者・行政等、本市に関わる全ての者が、平等に共有するためのものです。

概ね 20 年後の未来像を示すことを主眼としていることから、総合計画基本計画の策定等、今後の本市のまちづくりに関する施策展開においては、本書で示す未来像を具現化することを目指して、施策や取組を検討・実施することとします。

焼津未来デザインは、市域全体の未来像を示す「グランドデザイン」と、市内 9 地域ごとの未来像を示す「地域未来デザイン」で構成します。

2) 策定の視点

●分野横断的に検討し、一体的なまちづくりの推進に寄与します

既存の各種計画との整合を図りつつ、現況及び未来予測の的確な把握と、分野横断的な検討を踏まえ、“焼津らしさ”を活かしたまちのあるべき姿と方策を示し、市民・事業者・行政等が一体となりまちづくりを推進していく指針とします。

●社会の変化へ対応した指針とします

人口減少・少子高齢化の進行や Society5.0 を見据えたデジタル化の急速な進展、新たな働き方の浸透やビジネスモデルの変容等、急速に変化する社会経済構造や人々の行動、意識・価値観等を把握し、対応します。

●焼津市の未来予測に基づく指針とします

全国的な未来予測及び現在推進している施策等から、未来予測を把握し、反映します。

3 焼津未来デザインの構成

焼津未来デザインは、市域全体の未来像を示す「グランドデザイン」と、市内9地域ごとの未来像を示す「地域未来デザイン」で構成されます。

また、最後に「焼津未来デザインの実現に向けて」の章を設け、本書の実現のための基本的考え方をとりまとめます。

焼津未来デザインの構成

〔1〕グランドデザイン

1 焼津市の理想像

- ・新たな魅力が生み出され、多様な交流が広がり、笑顔とにぎわいがあふれている
- ・コンパクトで安全なまちが形成され、みんなが安心して快適に暮らしている
- ・誰もが地域の中で活躍し、生きがいや楽しみをもち、いきいきと暮らしている
- ・魚や温泉、自然などを活かした産業が活性化し、ずっと働き続け、暮らしていく

2 まちづくりの方向性

- ・にぎわいと活力ある拠点形成 <拠点>
- ・持続可能なコミュニティの形成 <地域>
- ・誰もが住み続けられる生活基盤の形成 <ゾーン>

3 4つの未来デザイン

- ・にぎわいと活力ある拠点連携による住む・働く・交流の実現
- ・自然と歴史・文化が息づく地域づくりと観光交流の実現
- ・誰もが快適に、育て、働き、暮らし続けられるまちの実現
- ・そら・うみ・りくのつながりと産業拠点を活かした新たな活力の創出

〔2〕地域未来デザイン

1 東益津地域	4 豊田地域	7 大富地域
2 焼津地域	5 小川地域	8 和田地域
3 大村地域	6 港地域	9 大井川地域

〔3〕焼津未来デザインの実現に向けて